

株式会社タムラ製作所

2011年3月期 決算概要

2011年 5月 17日



この度の東日本大震災により、
被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い被災地の復旧を、心より祈念致します。

1. 2011年3月期決算概要
2. 2012年3月期通期業績予想

1. 2011年3月期決算概要

売上高増加・収益の改善により
当期純損益は黒字転換

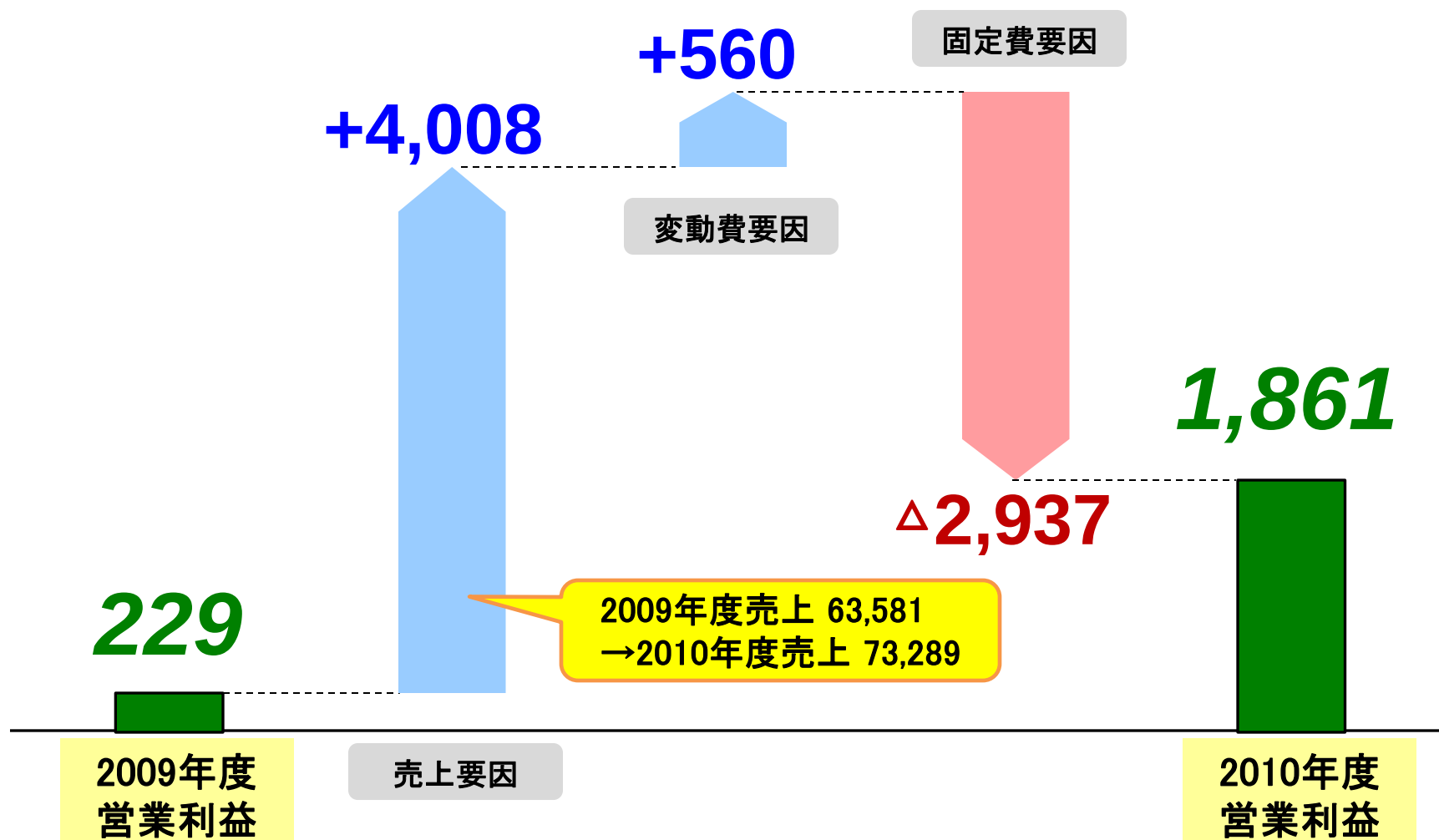
11/03 期中平均実績為替レート: \$1= 84円 74銭
11/03 期中平均社内為替レート: \$1= 85円 77銭
11/03 期末日実績為替レート: \$1= 83円 15銭

【百万円】

	10/3	11/3	対前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	63,581	73,289	9,708	15.3%
営業利益	229	1,861	1,632	712.5%
営業外損益	△532	△1,508	△976	－
経常損益	△303	353	656	－
特別損益	△713	334	1,047	－
税引前損益	△1,016	687	1,703	－
当期純損益	△2,332	125	2,457	－

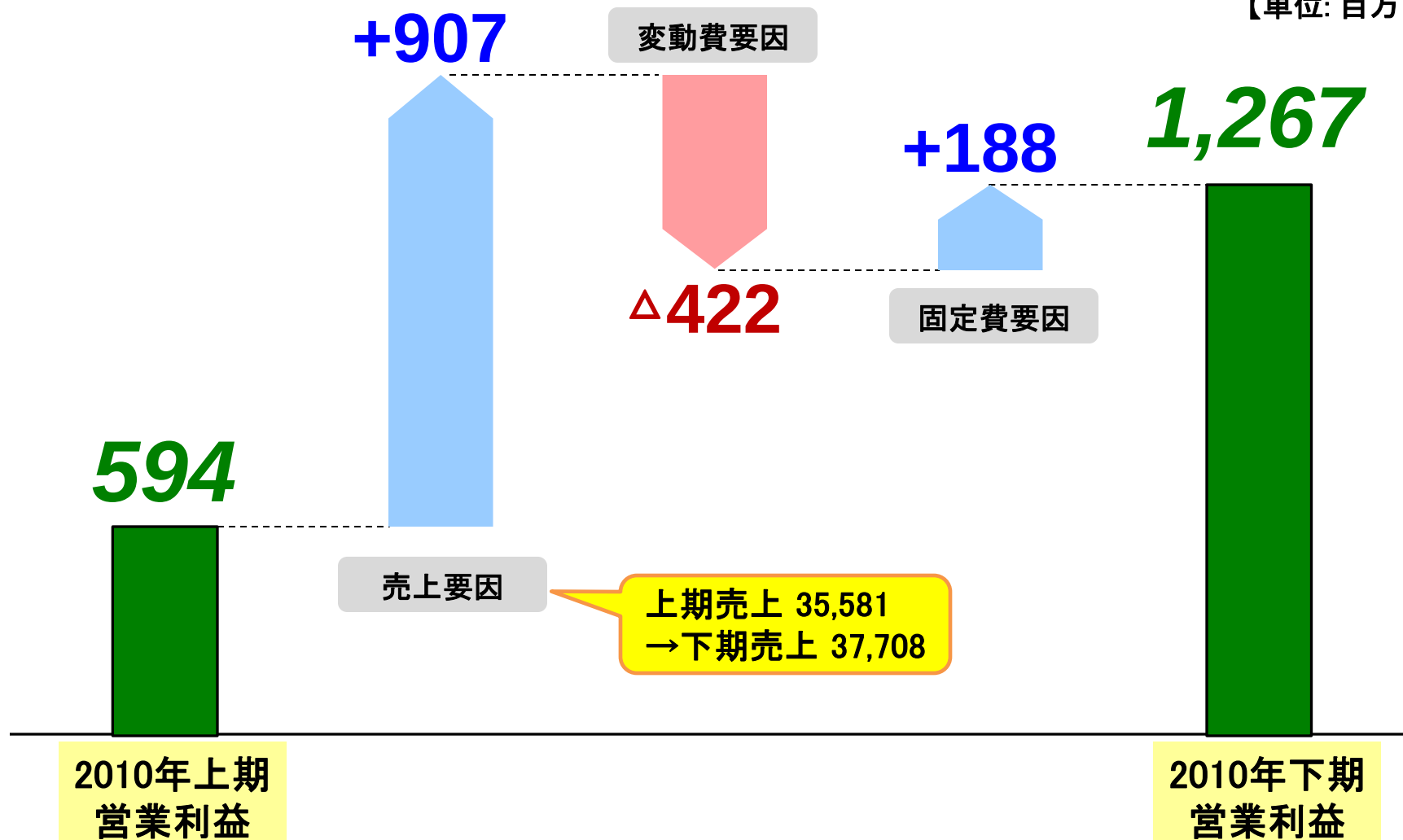
売上増加に伴い収益増加
固定費は製造労務費(賃金上昇・残業増加)を中心に上昇

【単位: 百万円】



変動費の上昇(原材料高騰、震災影響等)を
固定費の低減(経費削減、業務効率化等)でカバー

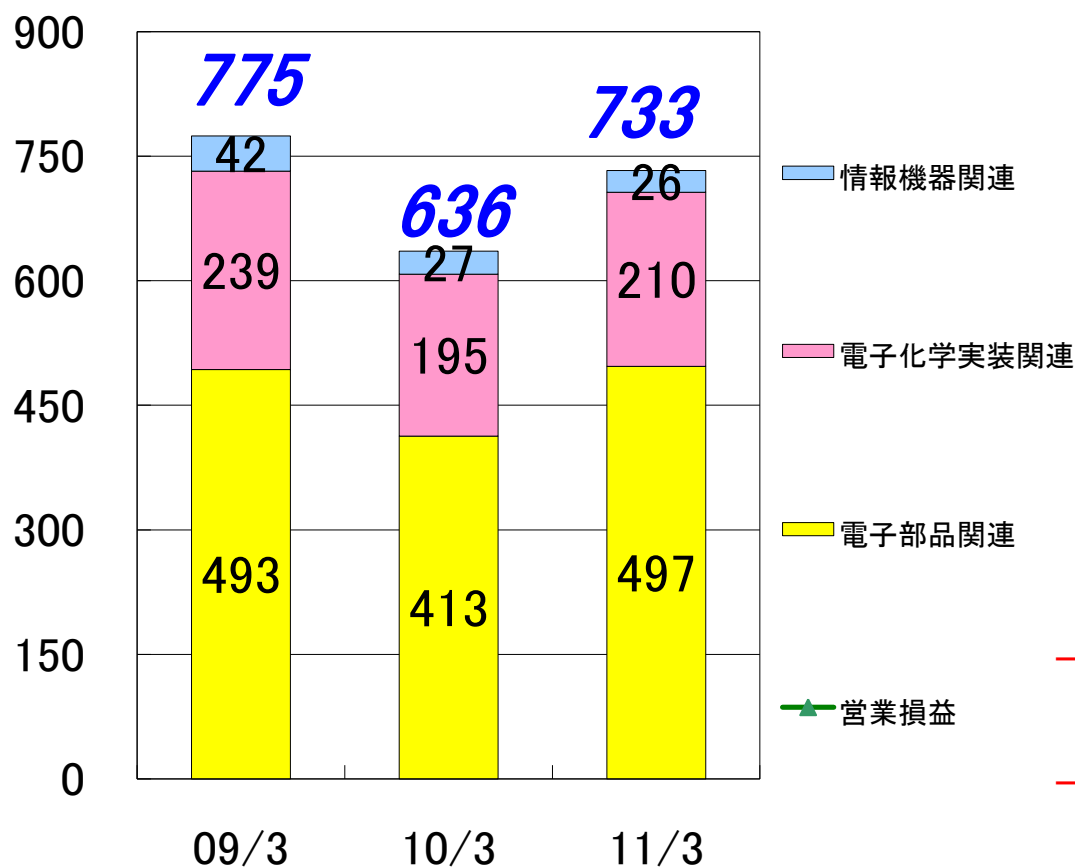
【単位: 百万円】



電子部品関連・電子化学実装関連：売上は着実に増加
 情報機器関連：設備投資抑制等により厳しい事業環境が継続

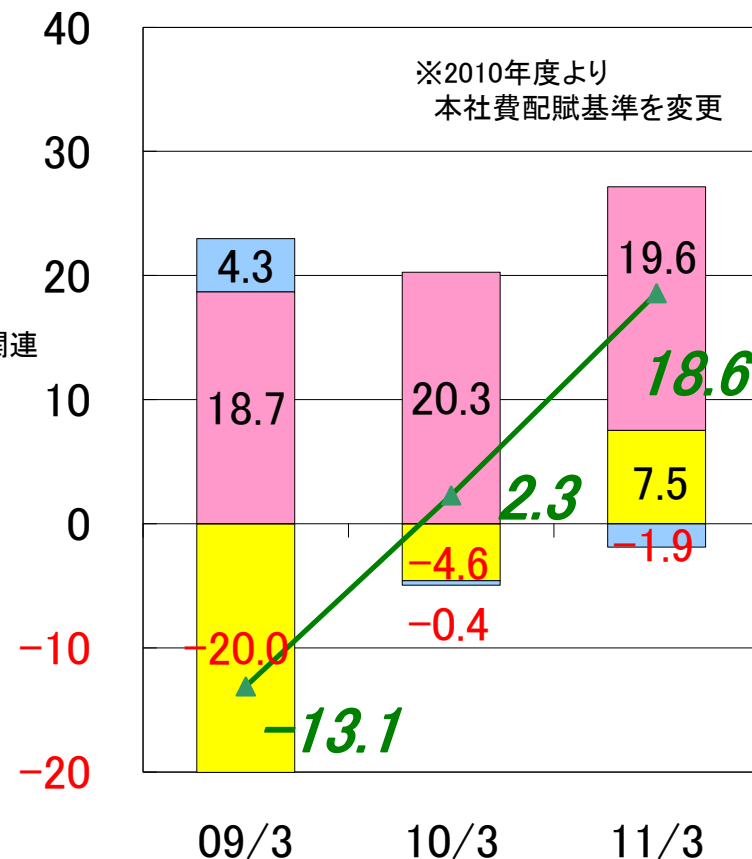
売上高

【億円】

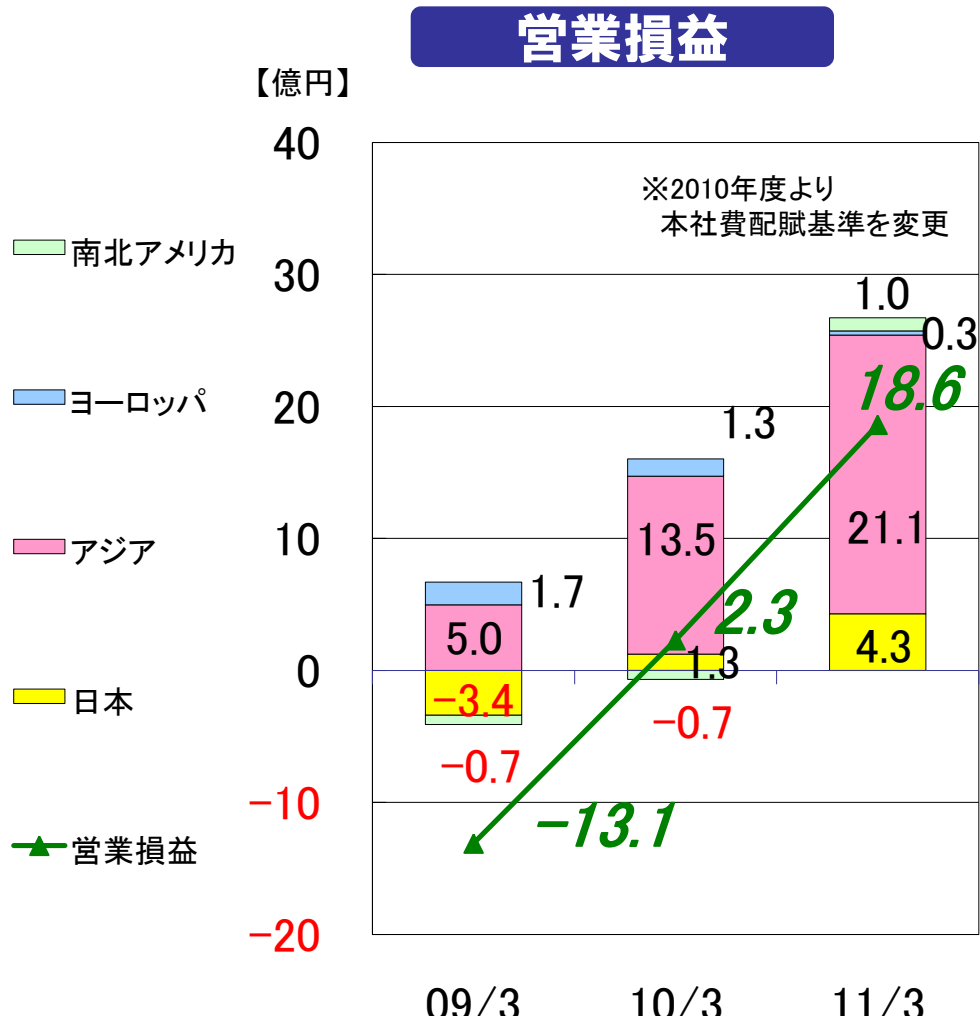
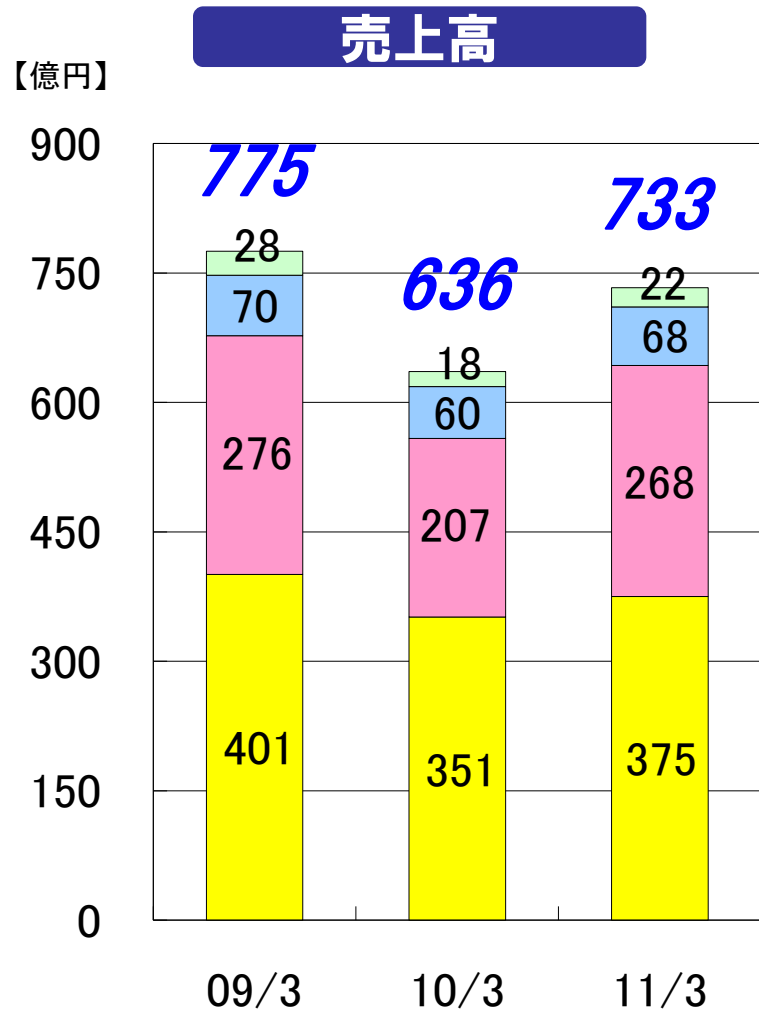


営業損益

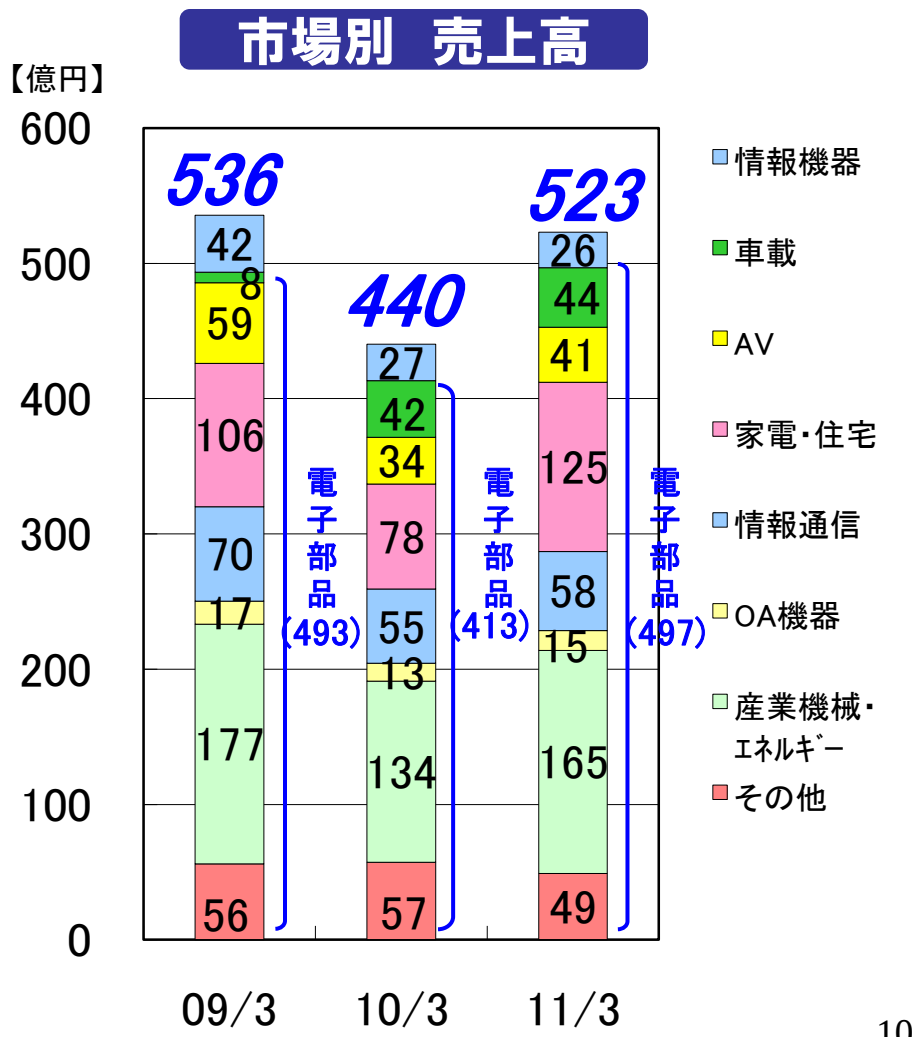
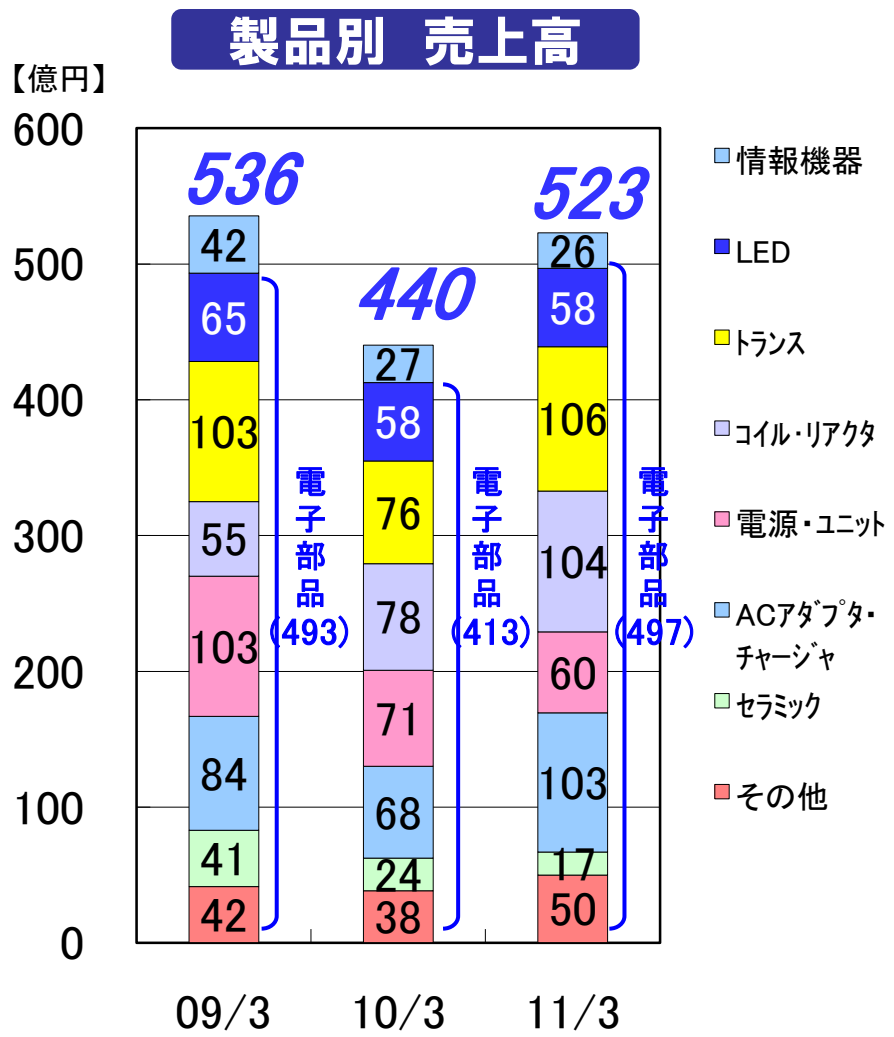
【億円】



各地域で売上回復傾向
収益に関しては中国を中心としたアジア地域が貢献



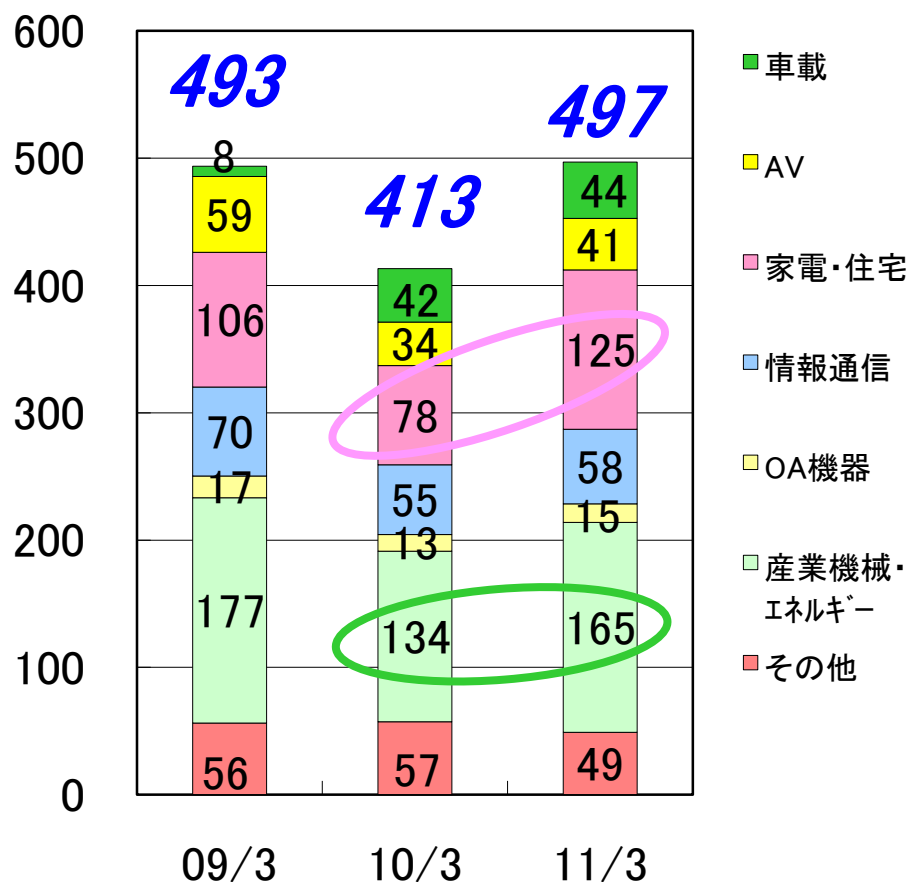
電子部品関連：高まる市場ニーズを背景に総じて堅調に推移
情報機器関連：投資需要の完全回復には至らず、厳しい市場環境



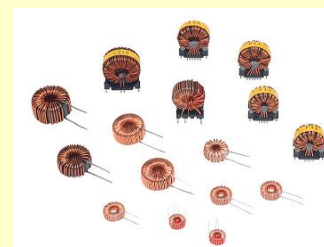
クリーンエネルギーや省エネ家電市場等 注目市場で売上が増加

市場別 売上高

【億円】



◆省エネ対応や高機能化が求められる
エネルギー・電源市場向け
各種デバイスを提供



チョークコイル



電気ヒューズ



L01Z



L08P



S20S

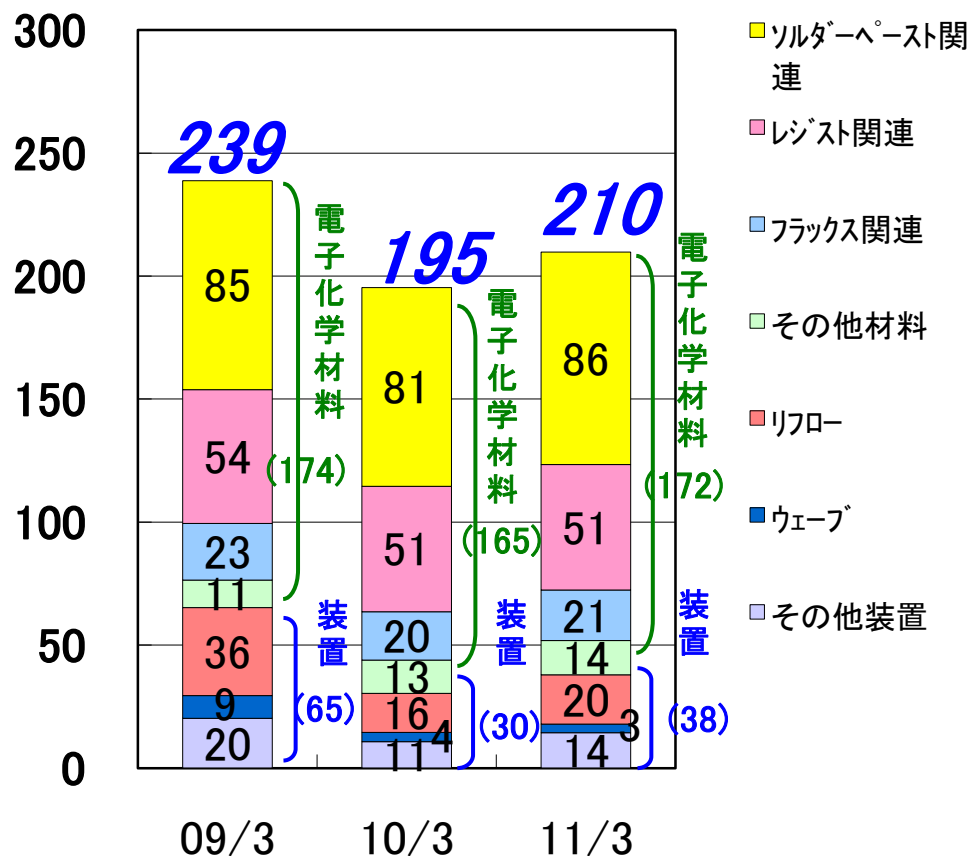
電流センサ

◆電流センサ・中国生産能力増強

電子化学材料：新規需要の獲得、新製品の投入により堅調に推移
はんだ付装置：各市場の生産の回復・増加を背景に緩やかに回復

製品別 売上高

【億円】



◆中国EMS向けなど はんだ付装置のラインナップ強化

タムラ最大の武器の加熱能力はそのままに、
中国生産による低価格リフロー装置を開発

8ゾーン、10ゾーン、12ゾーンの
幅広いモデル展開



GNV51-648PM

借入金40億円返済により、現預金・総資産、負債が減少
売上高15.3%増により、売上債権・棚卸資産が増加

【百万円】

	10/3	11/3	対前年増減
流動資産	51,055	46,596	△4,459
（現預金）	22,230	13,574	△8,656 ※1
（売上債権）	17,905	19,575	1,670 ※2
（棚卸資産）	8,424	11,102	2,678 ※2
（その他流動資産）	2,496	2,345	△151
固定資産	21,829	21,805	△24
（有形固定資産）	17,118	17,049	△69
（無形固定資産）	1,086	1,451	365
（投資、その他）	3,623	3,305	△318
資産合計	72,885	68,402	△4,483

(参考) 連結会社の増加

- ・英国ROMARSH社: 買収
- ・田村精工電子(常熟): 重要性増加

※1 キャッシュフローのページ参照

※2 売上拡大による増減

流動負債	22,433	28,127	5,694
（仕入債務）	10,687	11,550	863 ※2
固定負債	20,702	11,837	△8,865
（有利子負債）	25,230	21,733	△3,497
負債計	43,135	39,964	△3,171
純資産合計	29,749	28,437	△1,312
負債・純資産合計	72,885	68,402	△4,483

営業CF 売上回復期による売上債権・棚卸資産の増加
投資CF 英国ROMARSH社を買収(9億円弱)+設備投資の増加
財務CF 長期借入金40億円返済(リーマン・ショック直後の手元資金追加借入相当分)

【百万円】

	10/3	11/3	対前年増減
営業活動による キャッシュフロー	2,483	△1,689	△4,172
投資活動による キャッシュフロー	△349	△2,244	△1,895
フリーキャッシュ フロー	2,134	△3,933	△6,067
財務活動による キャッシュフロー	1,842	△4,297	△6,139
キャッシュの増減	4,109	△8,759	△12,868
キャッシュの残高	22,017	13,362	△8,655

2. 2012年3月期通期業績予想

戦略事業への資源集中と効率化を図り、収益性を向上

損益見通し

12/03 計画為替レート: \$1 = 82円

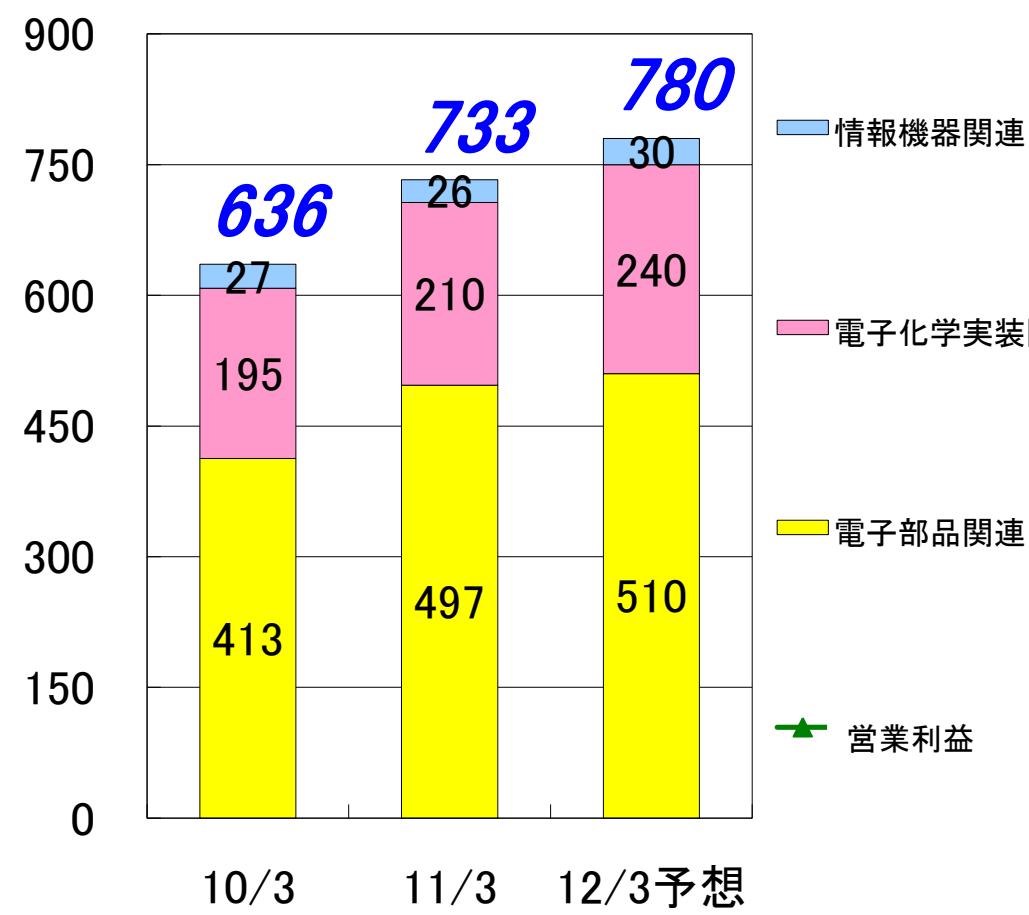
【百万円】

	11/3	12/3 計画	対前年増減	
			増減額	増減率
売上高	73,289	78,000	4,711	6.4%
営業利益	1,861	2,100	239	12.8%
経常利益	353	1,500	1,147	324.9%
当期純利益	125	700	575	460.0%

回復傾向にあるものの、市場環境には不透明要素あり
戦略事業を中心に売上拡大・収益安定化に注力

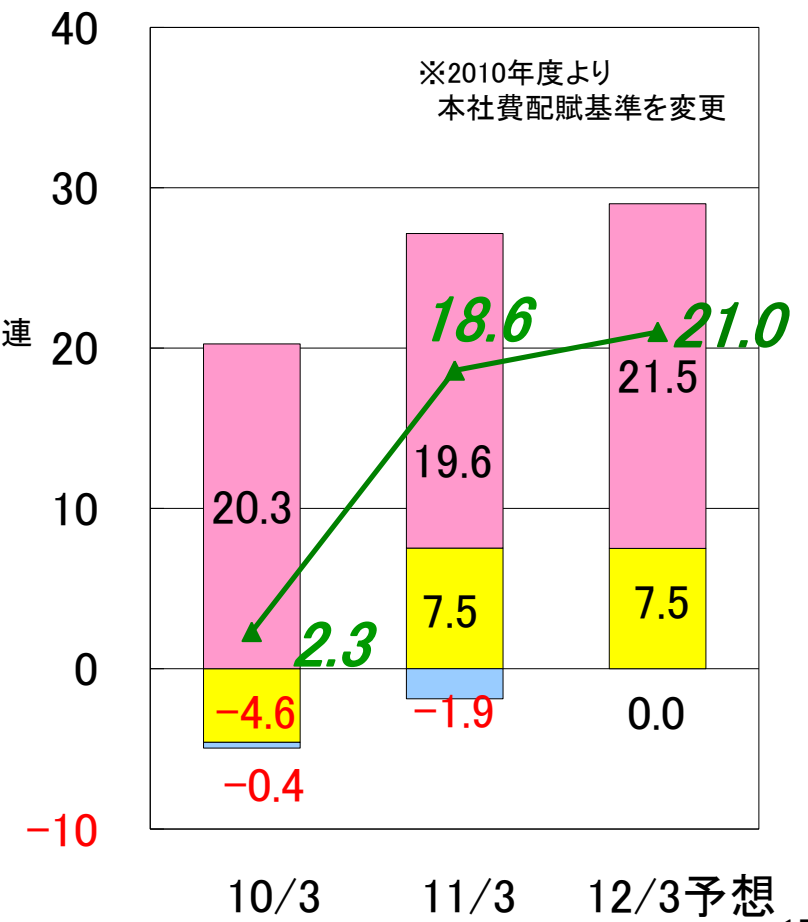
売上高

【億円】

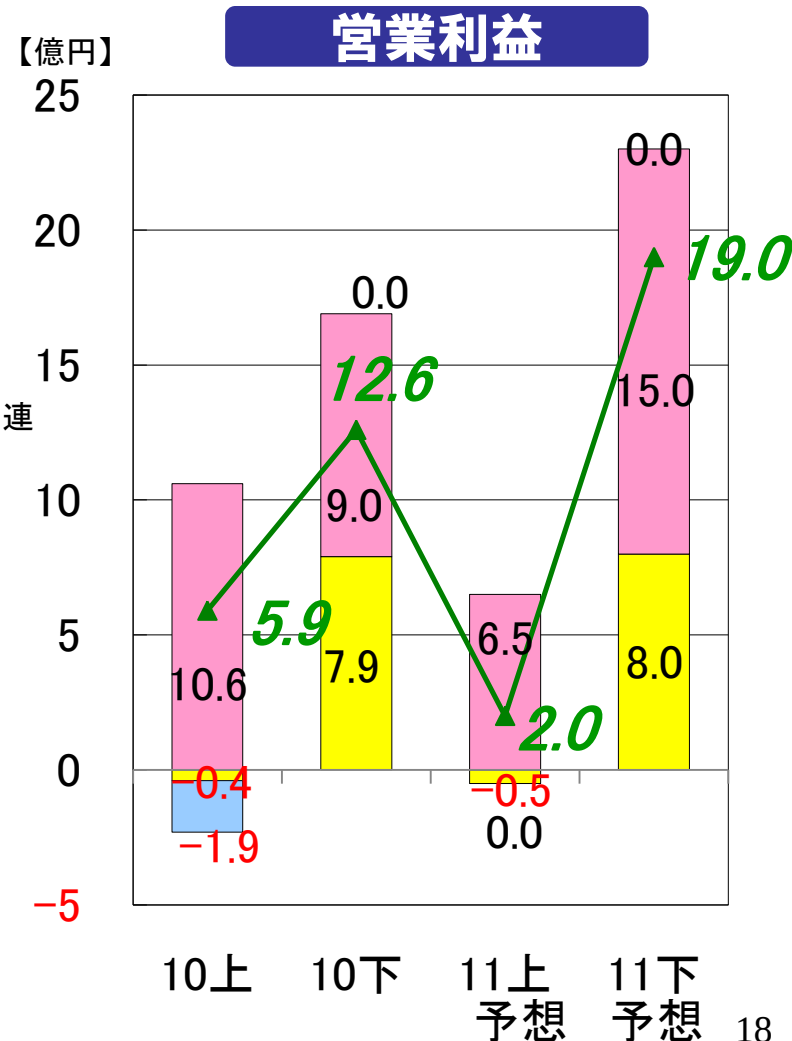
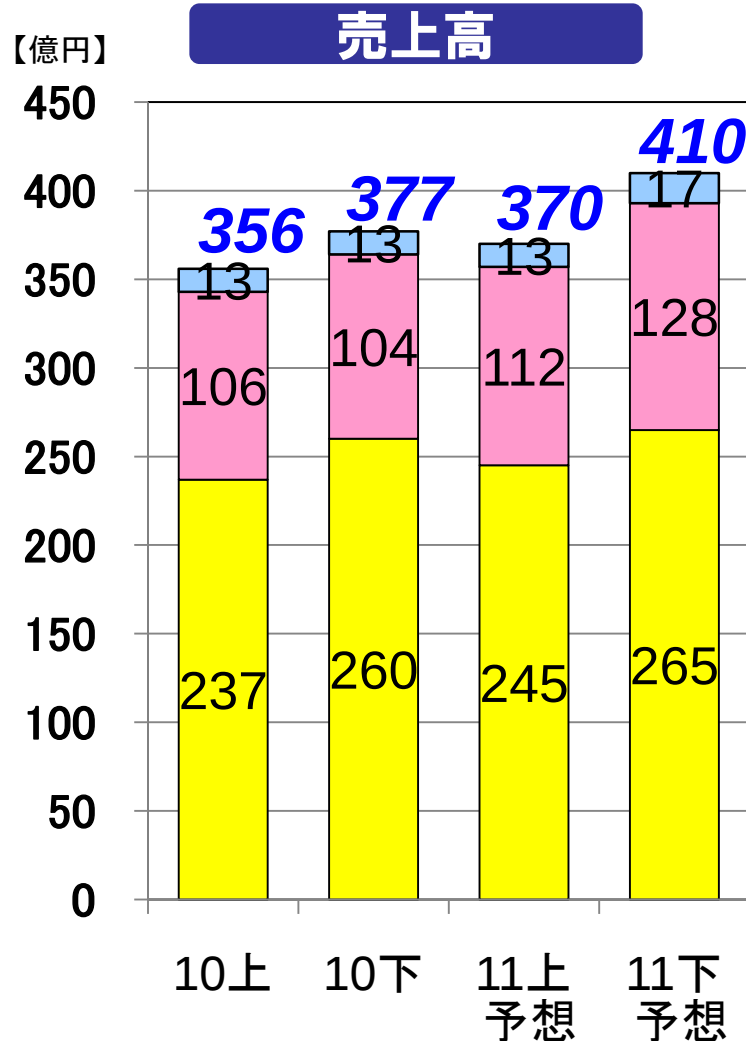


営業利益

【億円】



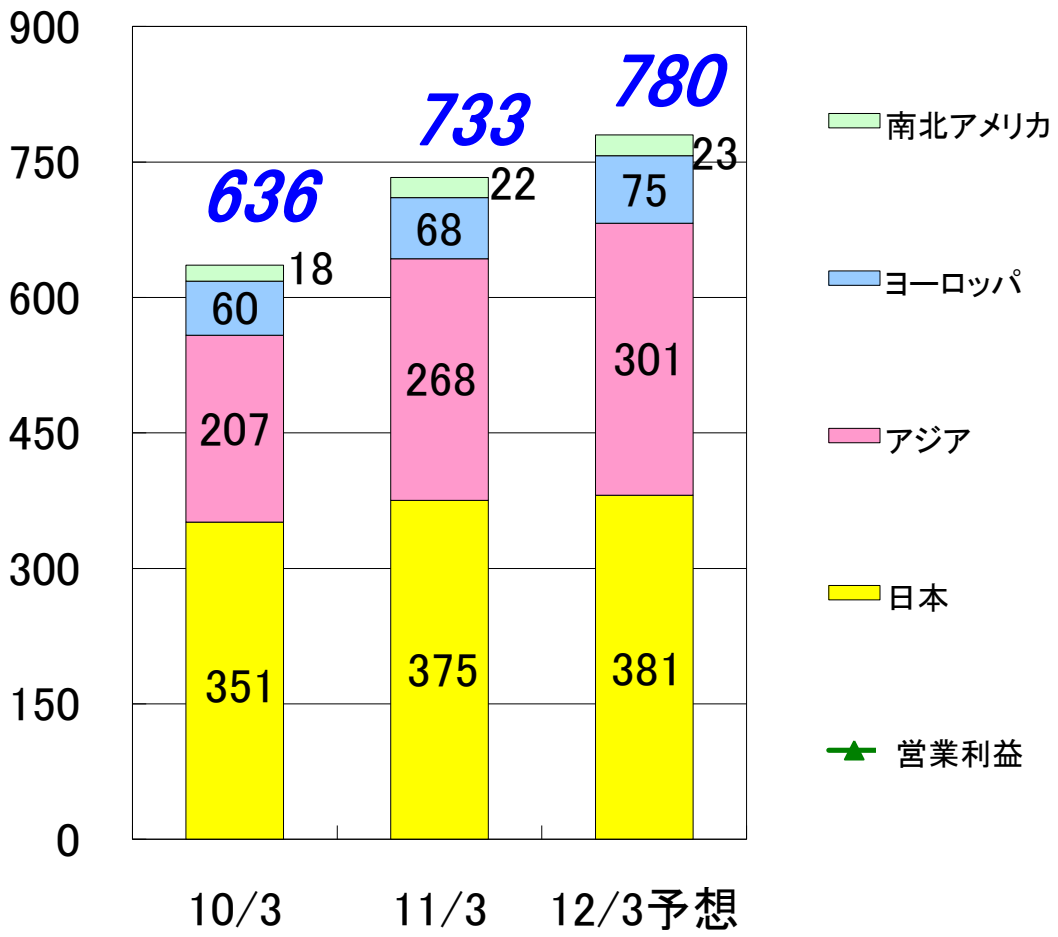
円高や素材価格の高騰もある中、
収益性の向上へ向けた取り組みを実施



地域発の顧客開拓や、 構造改革・VA活動等の取り組みを継続

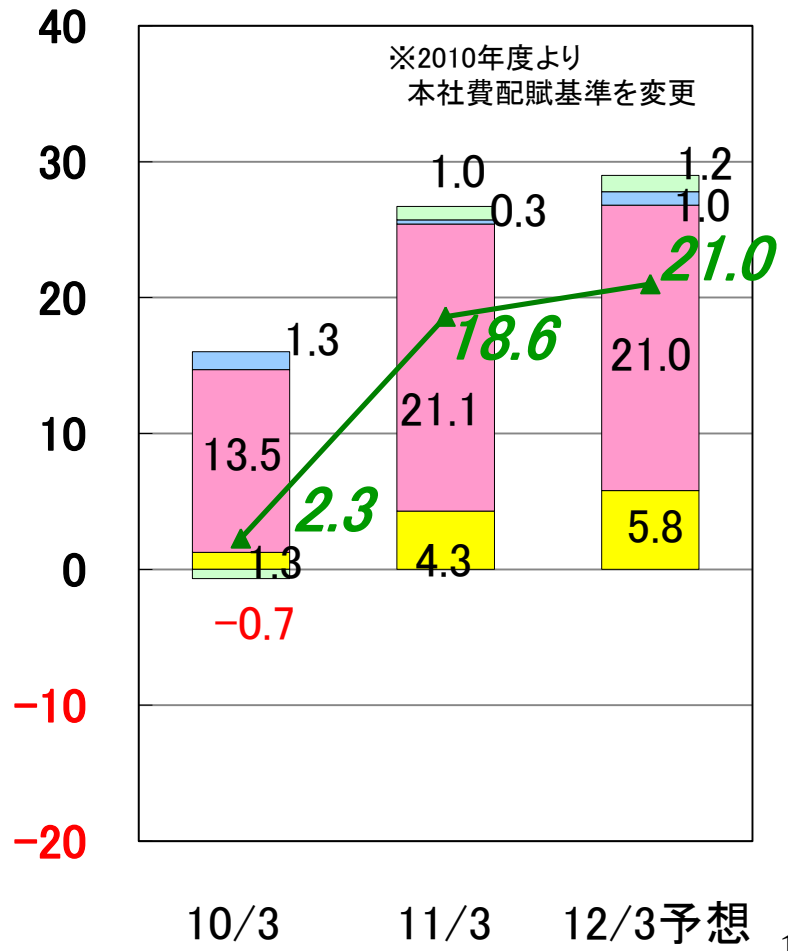
売上高

【億円】



営業利益

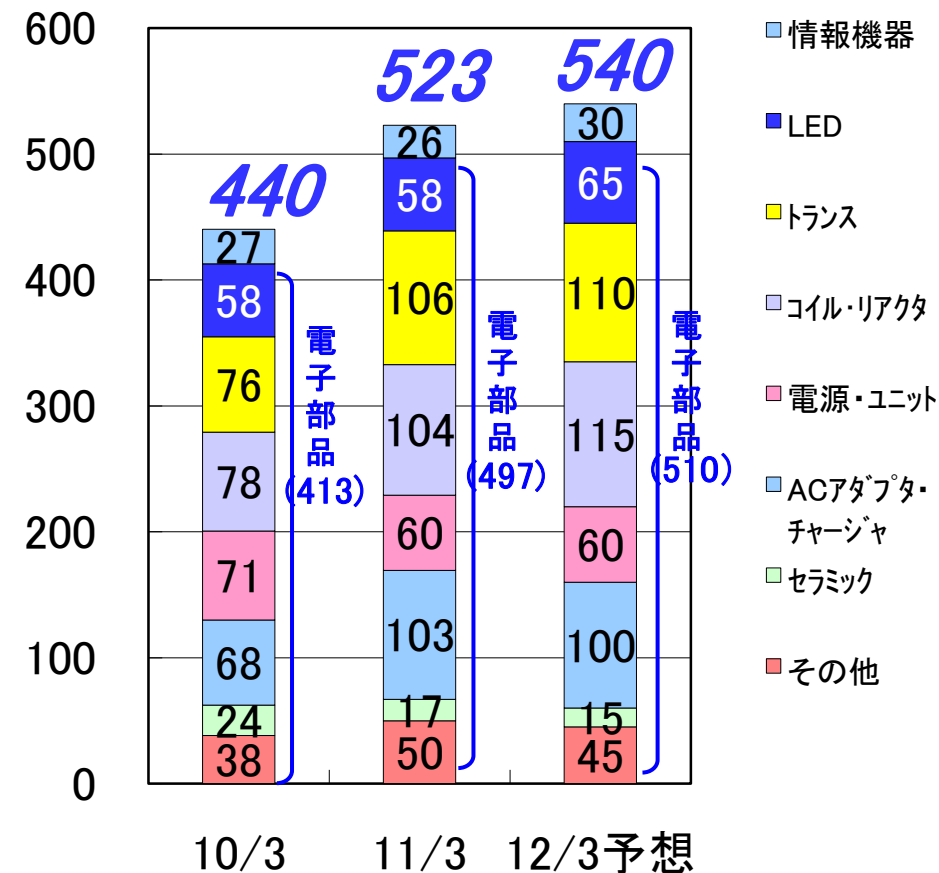
【億円】



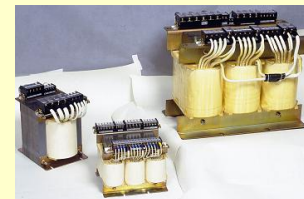
電子部品関連：エネルギー市場向け製品拡販、素材開発の強化 情報機器関連：サウンド・ワイヤレス機器を中心に開発を推進

製品別 売上高

【億円】



◆産業機械・エネルギー市場向けを中心に
トランス・リアクタ等のグローバル
生産・販売体制を拡充



◆店舗やオフィスの切実な省エネニーズ
に応えるLED照明を積極展開

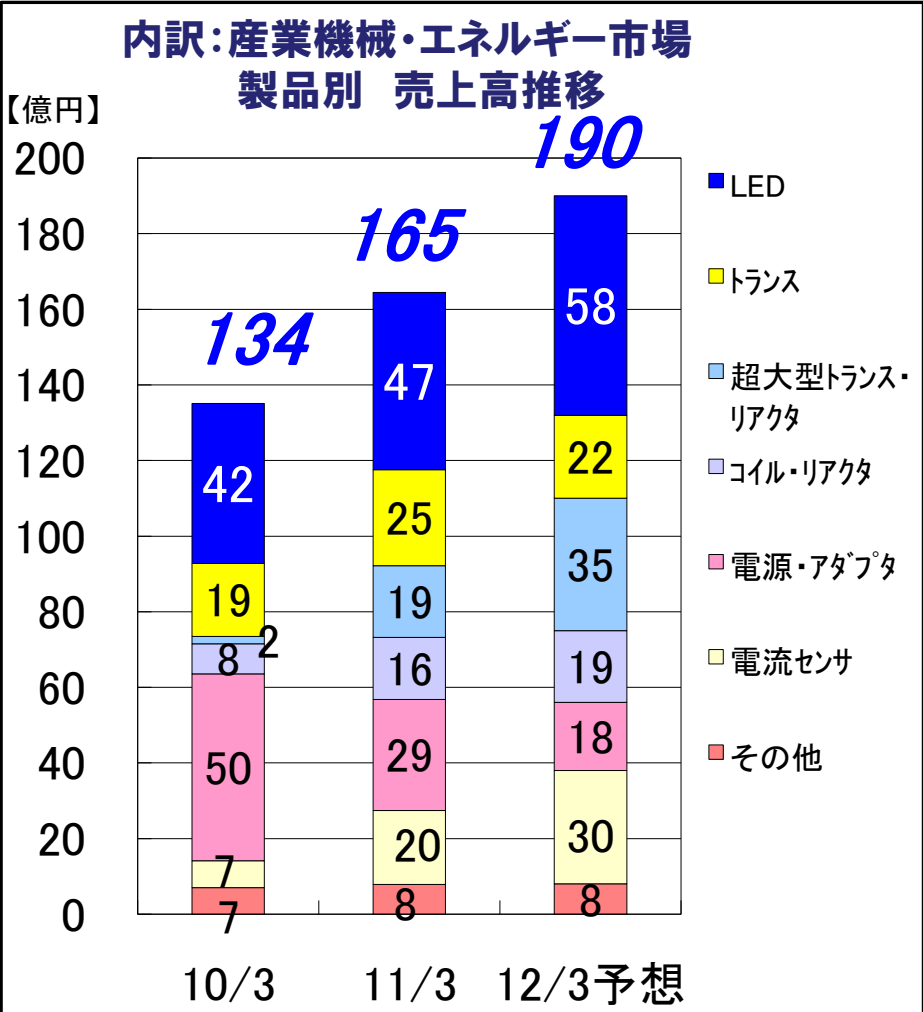
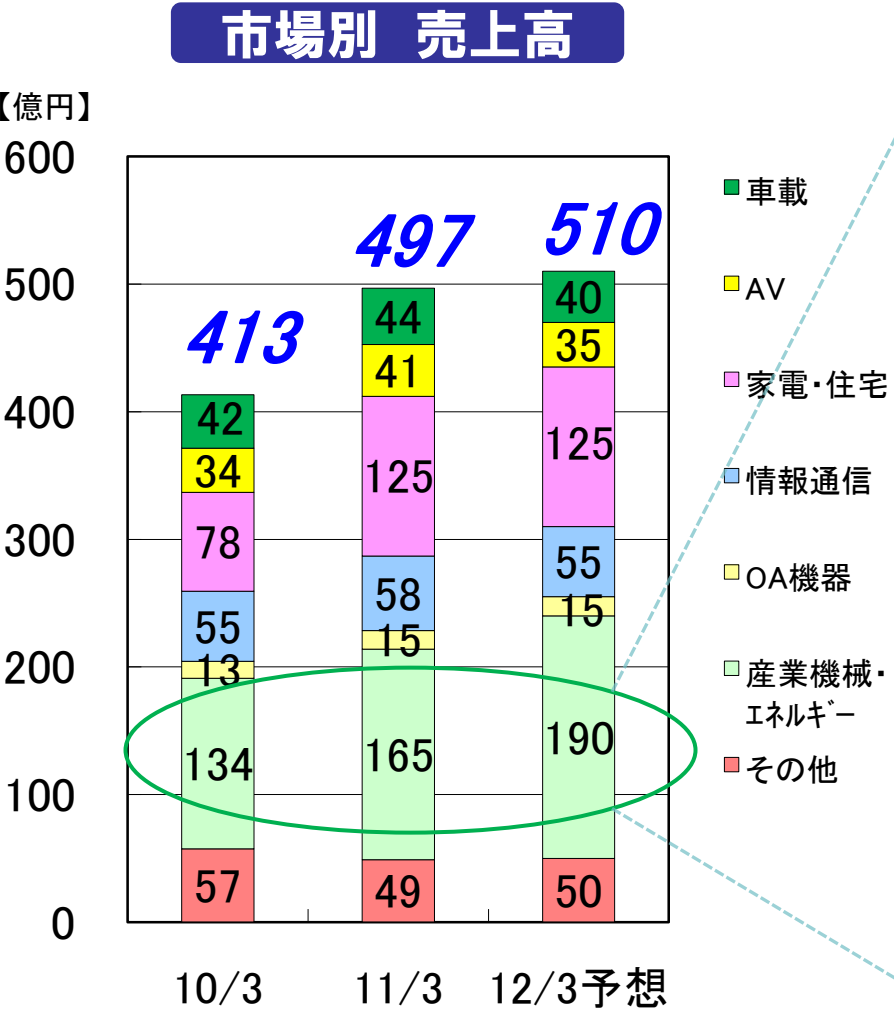


看板照明用LEDモジュール
“シャイニングアイ”



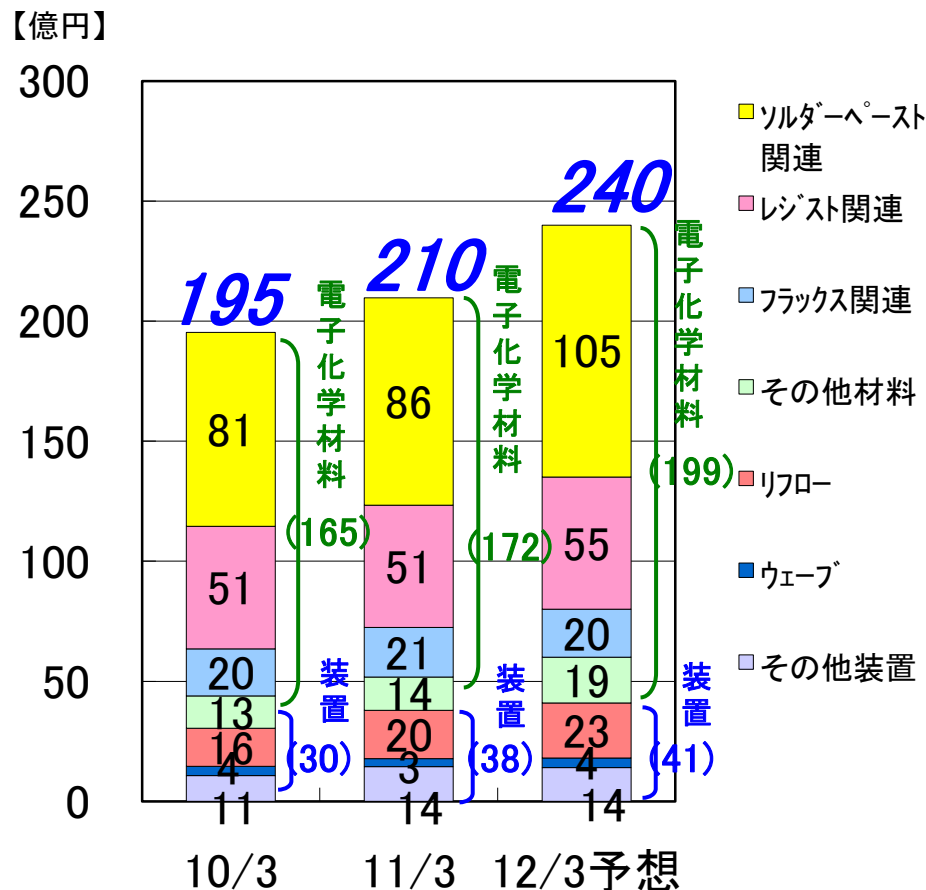
LED電球
“シャイニングボール”

エネルギー市場向け製品のグローバル拡販
素材開発の強化



電子化学材料：クリーンエネルギー、FPCやメモリ向け用途拡大 はんだ付装置：省エネ対応装置のラインナップを拡充 省電力ユニットなど保守パーツ販売を強化

製品別 売上高



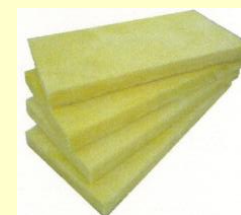
◆工場的大幅省エネを実現する はんだ付装置及び関連製品

➢ 平均有効電力7.5kW、N2使用量が
従来比3分の2の新型省エネリフロー

➢ はんだ付装置に後付け可能で、
10%以上の省エネを実現！

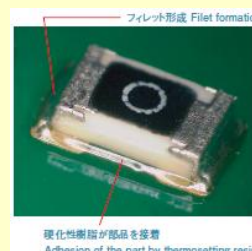


新型N2リフロー装置
“TNE25-538EM”



ボードタイプ高密度断熱材
“エコにチェンジ”

◆環境に優しく、高い信頼性のある 熱硬化性はんだ接合材シリーズ



(新製品)

SAM10-401-27

- ・鉛フリー・VOCフリー・ハロゲンフリー
- ・はんだ付けと樹脂の硬化による同時接着が可能
- ・洗浄工程不要のため、工数の低減が可能

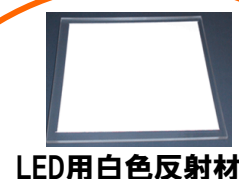
▶▶ 株式会社光波の株式交換・完全子会社化 2011.8.1予定

中期計画「オンリーワン戦略」の一環として、LED関連事業をグループの重要事業として育成
グループ会社間の連携を一層強化し、効率的かつ迅速に総合力を発揮

タムラグループ
信頼の電源技術



LED化に貢献する
各種関連材料



LED用白色反射材

LED発光効率をアップさせる
耐熱接合材

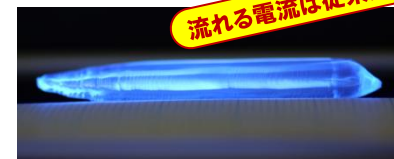


LED用黑色吸収材

LED発光効率 1割向上

大電流タイプ
高輝度LED

流れる電流は従来比10倍以上



酸化ガリウム単結晶

当社だけのオンリーワン技術
2011年度期末に上市



LED電球



蛍光管型LEDランプ



看板用光源モジュール
“シャイニングアイ”



天井材型薄型照明
“ボードライト”

2010年グッドデザイン賞 受賞

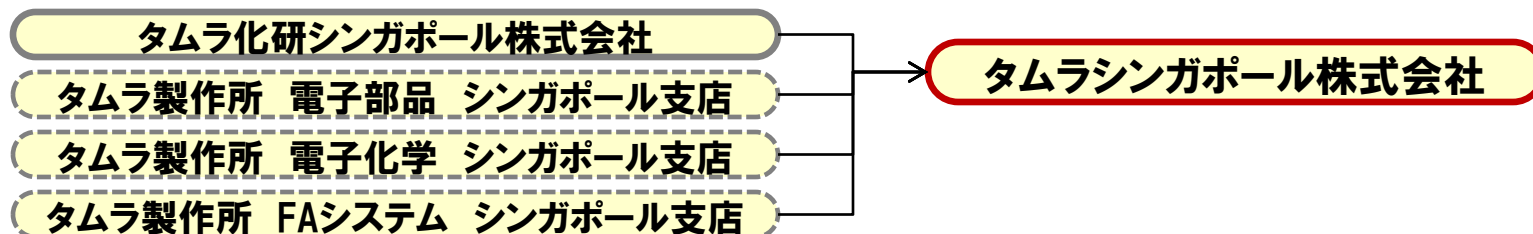
多彩なラインナップで
切実な省エネニーズに対応

LED関連市場における「オンリーワン価値」を創造

▶▶ ASEAN事業の再編、香港エリアの統合

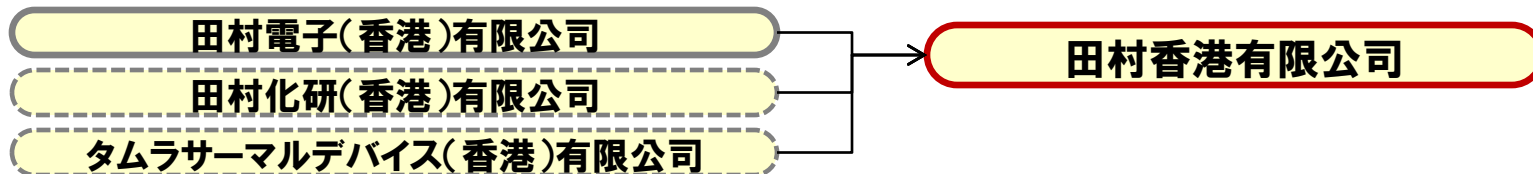
■ タムラシンガポール株式会社 設立（2010年10月1日付）

従前の支店販売形態を改め、アセアン事業の統括会社兼販売会社の立ち上げ



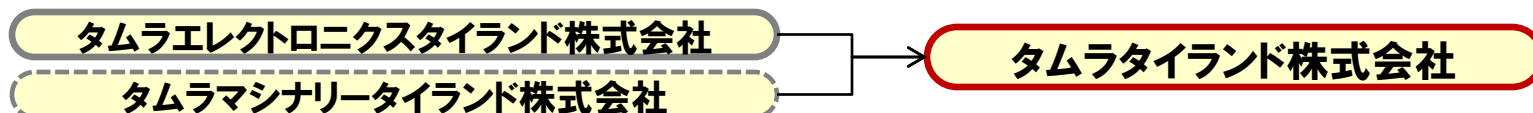
■ 田村香港有限公司 設立（2011年4月1日付）

3現地法人の業務を一本化する、香港エリア統括会社を設立

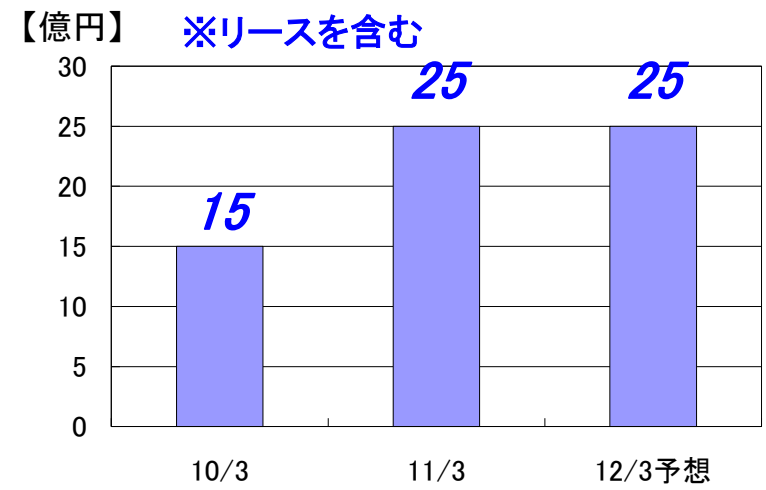


■ タムラタイランド株式会社 設立（2011年5月1日付）

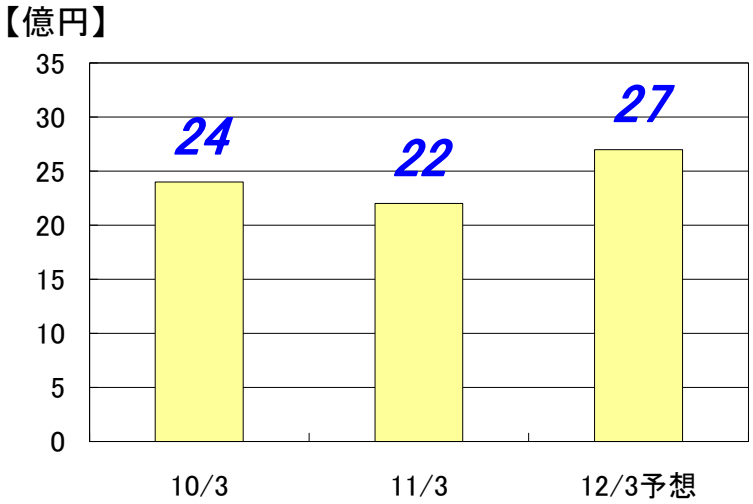
2現地法人の業務を統合し、タイエリアの業務合理化を図る



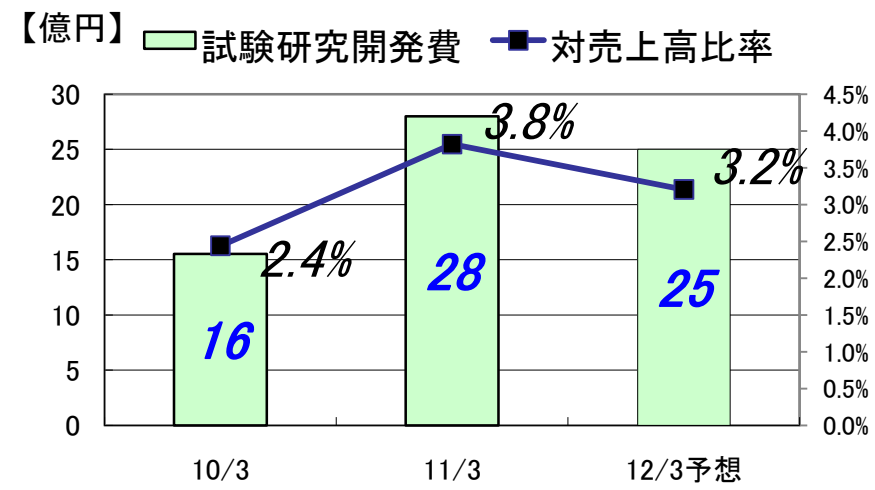
設備投資



減価償却費



研究開発関連費用



投資効果を最大限にするべく集中と選択

戦略事業を中心に設備投資・開発投資増強

- ・次世代エネルギー(太陽光・風力発電他)市場向け
製品: 超大型トランス・リアクトル等
- ・高輝度LED量産に向けた対応
- ・車載・半導体関連
- ・電子化学材料 新素材関連
- ・次世代デジタルワイヤレス関連
- ・中国工場生産能力拡大

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。